

SDGs達成に向けたウォータースタンドの取り組み



給水スタンド設置による脱水・熱中症対策

水分補給を呼び掛け、熱中症などを防ぐ



給水スタンドとは

誰でも給水できる「ウォータースタンド」の呼称

<設置場所>

役所、図書館、公民館、体育館等の公共施設(協定締結自治体)
その他、協力店舗、事務所等

給水スタンド設置台数(全国)※2023年10月末現在

2,589台



プラスチックボトル製造、リサイクル時に発生するCO2削減

マイボトルの携帯でプラスチックボトルをリデュース

500mlプラスチックボトル1本を使用した場合に排出されるCO2はステンレス製水筒(100回使用)と比較し約8.6倍となる119gにのぼると言われています。

※引用 環境省「リユース可能な飲料容器およびマイカップ・マイボトルの使用に係る環境負荷分析について」(2011年4月)



ステンレスボトル
(100回使用/ 500ml)



ガラス瓶
(300ml)



プラカップ
(350ml)



ペットボトル
(500ml)

CO₂排出量
(1回あたり)

約13.9g

約51g

約78.5g

約119g



約3.7倍

約5.6倍

約8.6倍

ボトルを10トントラックで 100キロ運搬したときのCO2排出量

※環境省温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver4.8)
(令和4年1月)第II編温室効果ガス排出量の算定方法



約55t-CO2

※軽油を燃料とする営業用10トントラックで積載率が不明な場合の
輸送10キロ当たり燃料使用原単位を使用

※単位発熱量及び排出係数に算定省令の値を用いない

※輸送距離を100kmと仮定

※PETボトル飲料の1本あたりの重量を500gと仮定

SDGs達成に向けたウォータースタンドの取り組み



マイボトル普及によるプラスチックボトルごみの削減

給水スタンドの設置により
プラスチックボトルごみの削減

協定締結自治体実績 ※2023年10月末現在

80団体



ウォータースタンド株式会社は、2023年6月神奈川県と
使い捨てプラスチックボトル削減に向けた協定を終結し、
県内の給水スタンドを拡大しています。

詳しくは [ウォータースタンド ボトルフリープロジェクト](#)

検索

次世代へ環境問題について考える
楽しいきっかけを創る



▲小学校への給水スタンドに環境問題についてのパネルを掲示



ウォータースタンドで働く人や、会社・地域の人と一緒に取り組む

マイボトルに給水できる営業所



※2023年10月末
現在

イベントによる啓発と周知



ウォータースタンドは未来の世代のためにより良い地球環境を引き継ぎます。
わたしたちは、2030年までに日本の使い捨てプラスチックボトルを30億本減らします。

WATER STAND



-3 billion by 2030



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています